

ネイティブボバイントロンビン

Cat. No. NATE-0698

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 トロンビンは、ヒトではF2遺伝子によってコードされるセリンプロテアーゼです。プロトロンビン（凝固因子II）は、凝固カスケードにおいてプロテオリティックに切断されてトロンビンを形成し、最終的には出血の減少をもたらします。トロンビンは、可溶性フィブリノーゲンを不溶性のフィブリンの繊維に交換するセリンプロテアーゼとして作用し、さらに多くの凝固関連反応を触媒します。

用途 トロンビンは、アフィニティタグを除去するためのアクセス可能なトロンビン認識部位を含む再組換え融合タンパク質の部位特異的切断に使用されます。トロンビンは、バイオフィジカルおよび構造的特性評価のためのアデノシン受容体ペプチドの生合成のための発現および精製システムを評価する研究に使用されました。

別名 トロンビン; 9002-04-4; EC 3.4.21.5; フィブリノーゲナーゼ; トロンパース; トロンボフォー ト; トピカル; トロンビン-C; トロポスタチン; 活性化血液凝固因子II; 血液凝固因子IIa; 因子 IIa; Eトロンビン; β -トロンビン; γ -トロンビン

製品情報

種	ウシの
由来	牛血漿
形態	タイプI、塩化ナトリウムシトレートバッファーから凍結乾燥、pH 6.5; タイプII、緩衝水溶液、0.05 Mリン酸バッファー中、pH 7.0
EC番号	EC 3.4.21.5
CAS登録番号	9002-04-4
活性	600-2,000 NIH単位/mgタンパク質（ビウレット）または > 2,000 NIH単位/mgタンパク質（E1%/280 = 19.5）; > 125 NIH単位/mgタンパク質（ビウレット）
代謝経路	血管壁における細胞表面相互作用、特定の生物に特有のバイオシステム; クラス A/1（ロドプシン受容体）、特定の生物に特有のバイオシステム; 共通経路、特定の生物に特有のバイオシステム
機能	カルシウムイオン結合; フィブリノーゲン結合; タンパク質結合